


一般社団法人  
奈良県中小企業診断士会



経営診断・支援と講演・研修は、経験豊富な奈良の実情に通じた  
中小企業診断士にお任せください。

診断なら 平成24年 夏号

— 目次 —

- ◆ ご挨拶 ～石川会長より～ ..... 1
- ◆ 奈良県中小企業診断士会第1回通常総会報告 ..... 2,3
- ◆ 今年度発足各研究会紹介
  - 企業内診断士研究会 ..... 4,5
  - ホームページ活用研究会 ..... 6
  - 企業再生・事業承継研究会 ..... 7
  - Global Consulting Service：国際化診断研究会 ..... 8
- ◆ 新入会員自己紹介コーナー ..... 9
- ◆ 奈良士会行事開催予定 ..... 9
- ◆ トピックス 「ビジコン奈良2013」を受託！ ..... 9
- ◆ 編集後記 ..... 10

## ご挨拶

～国家資格である中小企業診断士としての誇りと県内中小企業の活性化に資するミッションを遂行する士会を目指して～



一般社団法人奈良県中小企業診断士会  
会長 石川 史雄

一般社団法人奈良県中小企業診断士会がスタートしました。県下の中小企業をめぐる経営環境が極めて厳しい状況下にある中で、診断士は国家資格をもつプロのコンサルタントとして、また支援機関に所属し、あるいは金融機関や企業内での経営の安定成長のお手伝いを行うことがいっそう求められています。

会員の方には登録更新がスムーズに行くよう、引き続き理論研修の実施を行う他、実務ポイント取得の新たなサービスを開始します。また、自己研鑽や人脈を広げるための研究会＜活性化研究会、観光研究会（県内観光開発分科会・中国分科会）、国際化診断研究会、企業再生・事業承継研究会、企業内診断士研究会、ホームページ活用研究会＞も用意しています。大いに活用されますようお勧めします。

本年度から事業部会員制度を設けました。士会に寄せられる業務依頼が増加してきており、また、組織的な受注活動を展開して行くためのものです。

これまでのちゅうしん助成金の審査業務や新たに奈良市の創業支援施設の創業相談、独自展開するセミナー業務なども対象となります。

新組織として独立して事業運営を行うこととなりますので、会としての自己責任とともに、会員の皆様の関わって頂く業務範囲もこれまでよりも、広く・深くなってきました。

会員の皆様に奈良県診断士会に加入してよかったとだけ思っただけの士会づくりを、皆様と力を合わせて進めて参ります。ご協力のほどよろしくお願い致します。

## 奈良県中小企業診断士会第1回通常総会報告

副会長 堀越 一郎

平成24年5月25日（金）に、一般社団法人として新たに発足した奈良県中小企業診断士会の記念すべき第一回通常総会が、ご来賓のみなさまをお迎えしてホテルフジタ奈良において開催されました。

出席いただいたご来賓は次の方々です。

奈良県中小企業団体中央会橋本専務、奈良県中小企業支援センター小島専務、奈良市観光経済部森部長、奈良県産業・雇用振興部工業振興課鈴木課長、同商業振興課梶井課長、大阪府中小企業診断協会北口副会長。

出席会員数は、士会会員総数74名、出席会員数60名(含、委任状出席)でありました。

総会は石川会長の挨拶で始まり、中小企業診断協会奈良支部は公益法人制度改革に対応すべく一般社団法人奈良県中小企業診断士会へ組織変更を行い4月2日付で法人登記をすませたこと、奈良県士会においても会員の全員参加による会づくりを通して、中小企業の経営の安定と発展につながる支援を強化して行くこと、等が述べられました。



続いてご来賓を代表し、中央会橋本専務より記念すべき奈良県士会の第一回総会に対して祝意を頂いたあと、奈良県企業の活性化に向けて奈良県士会に熱い期待を寄せられている旨を、支援センターの小島専務より支援センターの企業支援の取り組みの紹介と奈良県診断士会とのコラボレーションによる企業活性化への期待のお言葉を頂きました。

その後、下記の議案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

<第一号議案>平成23年度事業実施報告及び収支決算承認の件

<第二号議案>平成24年度事業計画及び収支予算承認の件

<第三号議案>会費規程の承認の件

<第四号議案>任期満了に伴う役員改選の件



総会終了後、鈴木工業振興課長の乾杯ご発声により懇親会がスタートし、参加会員は来賓のみなさま方との意見交換や情報交換により懇親を図っていたき、会員相互も各々忌憚のない情報のやりとりで、より一層交流を深めることが出来ました。特に、ご来賓のみなさま方と、本音を交えた会話を通じてより一層親密な関係構築を図っていただけたことは、奈良県士会の存在意義を高めるとともに、参加いただいた会員診断士の業務面においても今後非常に役に立つ交流会となりました。

約2時間の懇談のあと西野相談役の一本締めで懇親会は散会となり、参加者は今後の奈良県士会活動への熱意を抱いて帰路につきました。

## 今年度発足各研究会紹介

### 企業内診断士研究会

理事 藤井 謙昌

最近フレックスタイムを導入する企業や、電力不足への対応から「ノー残業デー」の導入や拡大をする企業がみられ、平日でも活動できる企業内診断士が増えてきています。そのため「Jnet21」や「企業診断ニュース」などにも企業内診断士の活発な活動事例がみられます。当会でも企業内診断士を対象にした研究会を立ち上げます。

#### 1. 研究会の目的

当会にも多くの企業内診断士が加入されています。せっかく中小企業診断士の資格を取得していても、企業内だけではコンサルスキルの向上や人的ネットワークの構築ができないと思います。この研究会への参加により、メンバーが自らの強みを発揮し、互いに研鑽しあうことでコンサルスキルの向上を図ることを目的にします。

#### 2. 活動内容

##### ①メンバーの得意分野の把握

参加メンバーが所属企業でどのような業務を担当し、どのようなスキルを保有しているのか発表してもらい、参加メンバーの得意分野の把握（棚卸）をします。まず研究会の人縁を会社の仕事に役立てていただきたいと思います。

##### ②休日無料相談会の開催を検討する

メンバーの実務ポイント獲得機会の創出のため、休日無料相談会開催の方策を参加メンバーとともに検討します。もし、休日無料相談会の開催が可能になれば、相談会で指導を行った内容は事例発表をしてもらい、全体のスキルアップが図れるようにします。





### ③経営指導

指導案件が発生した場合には、メンバーで支援チームを編成し対応します。

### ④共同研究

活動時間に制約を受ける企業内診断士にとり執筆活動は自分の裁量でできる分野です。数名のメンバーが集まりテーマが設定できるなら自由にやっていたらこうと考えます。

## 3. 運営方針

参加メンバーの自己責任による自発的な活動を原則にします。上記の活動内容は仮のもので、今後参加メンバーとともに詳細を検討していきます。ミーティングは3か月に1回程度で土曜日の午前中に開催しようと考えています。

## 4. 設立ミーティングについて

設立ミーティングを以下のとおり開催します。ミーティングに参加いただく場合は藤井のメールアドレスまで一報をお願いします（資料を送付するため）。

日 時 7月7日（土） 午前9時半  
場 所 奈良県中小企業会館4F 小会議室B  
MLアドレス <mailto:f2141@pastel.ocn.ne.jp>



理事 渡辺 武久

ホームページを取り巻く環境は近年大きく変化しており、単に企業の存在をPRする役割から、企業活動を推進するエンジンとしての役割になってきています。ホームページの構築や情報発信の手段も多様化し、専門家でしか扱えなかった世界から、その効用を享受しようとする人々自身が気ままに構築や情報発信ができるように、いろいろな新しい方法が提案されています。

奈良県診断士会のホームページもそのような流れを踏襲し、会員自身が自分の持っている情報を気ままに発信し、それをトリガーとして会員同士の情報交換が活性化し、会員自身のビジネスにも役に立つようにして行くべきと考えます。そして、その仕組みを会員のビジネスツールとして整備し、会員がクライアントを支援するための有効な道具を提案し、研究会の成果としたいとも思っております。「活用」の意味でもあります。

このような考えは、ホームページのありかたを時代の流れに合わせて変革してゆこうとしている経営者やコンサルの方々にはあたりまえで、ちょっと考えれば誰でも出てくる発想かもしれません。この研究会は発想を研究する会ではなく、発想を実現する研究会としたいと思っております。高度な技術を覚えなくてもこのようなことが実現できるはずです。

会員の皆様のなかで、わたしと一緒にやってやろうという方を募ります。会合は月一回程度とし、会合のなかでそれぞれの分担を決めて、次の会合までに宿題としてやってきてもらうという方法をとります。出来ればその間の情報交換手段としてメーリングリストを設定して、メンバーの宿題で個人作業中の情報交換を行います。



士会会員 須崎 保弘

当研究会は中小企業の事業再生や事業承継に関する理論、事例研究さらには実践を通じて中小企業の企業価値向上による事業継続支援することを目的としております。

昨年12月に中小企業金融円滑化法が最終延長され平成25年3月で失効となりました。この法律は、リーマンショック以降業績悪化し思うように資金調達ができない中小企業者が難局を乗り越えるため一時的な借入金返済猶予を金融機関に求め、猶予期間中に経営改善していただく趣旨でH21.12に施行されました。しかし、本来の趣旨から懸け離れ、ステークホルダーの監視を緩めモラルハザードを招いたとか、金融のダブルスタンダードとなりました。本来の目的たる経営改善がなされているのはごく僅か等でありゾンビ企業の増殖を招いたとかマスコミ等で騒がれました。実務的な感覚としても、経営改善に対する本気度が疑問視される企業、取り組み方がわからないといった方向性もわからず成り行き任せ的な中小企業の多さを実感します。



当研究会は、単なる一時凌ぎの資金繰り対策としてではなく、廃業や財産整理をおこなわないことを前提とした事業継続（いわゆるゴーイングコンサーン）を大前提に、①企業価値向上をはかる事業戦略の方向性、②組織（仕事をおこなう仕組みとしての）はどうあるべきか、③経営者はどう考えるべきか等の研究、さらには、経営者の高齢化・あるいは先行き不安による後継者不在といった中小企業者存続に係る大きなリスク要因たる事業承継問題も研究対象にしない限り所期の目的は達せられないと考えており、この分野における経営者承継、経営承継、資産承継の視点による検討もおこないたいと考えています。活動としましては、理論・事例研究といった基礎的ノウハウのみではなく、診断士の専門家集団として関係諸機関にも働きかけ実践をおこなってまいりたいと考えています。



士会会員 山西 健市

研究会のメンバー：梅原 洋、西 康弘、橋本勝也、橋本篤実、山西健市

研究会の目的：企業・団体の国際化を診断・指導・業務受託し、当企業・団体の国際化を促進し、地域経済の発展に貢献する。

活動方針：企業を取り巻く国際化は年々広がっており、中小企業も色々な場面で国際化に遭遇しています。特に最近では、製造業のみならず、サービス業の海外進出が目立っています。

企業の国際化とは、輸出・輸入・海外生産が大きなテーマですが、そのためには人事部においては従業員の国際化、経理部においては国際化に係わる税務、海外での資金調達など、企業の各部署においてそれぞれが国際化に対応する必要があります。

Global Consulting Service (GCS) は、その企業が国際化に適切に対応しているかどうかを全社的に診断し、経営戦略の検証・改善策を提案し、改善策を実行する際には指導・業務受託を行います。

活動内容：当面、企業の海外投資（海外進出）を軸に支援を行います（海外販路開拓の支援も行います）。

特に、活動初年度の今年度は、研究会の事業基礎を築くことを目的として、サービス業・飲食業・小売店などをターゲットに海外での店舗展開を支援します。

具体的には、現地で開業する際の規制・手続き、市場調査、ビジネスプラン作成、事業可能性の診断を行い、当企業の海外展開の動機づけを行うとともに、海外進出の支援・指導・業務受託を行います。



## 新入会員自己紹介コーナー

- ◆ 平成 24 年 1 月以降現在まで、下記杉田様が入会されまして、  
本年 5 月末時点での会員数は 74 名となっています。

ふりがな	すぎた よしゆき
お名前	杉田 義幸
勤務先	関西電力株式会社
登録年度	H 1 7 年
転入の場合は前支部名	大阪支部
抱負 (50~100 文字にて)	企業内診断士ですが、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。
特技	スキー
趣味	ゴルフ、読書、旅行他

## 奈良士会行事開催予定

- ◆ 7 月 29 日 (日) ~ : 平成 24 年度診断助言実務事業 A コース スタート
- ◆ 8 月 4 日 (土) ~ : 平成 24 年度診断実務事業 B コース スタート
- ◆ 8 月 4 日 (土) ~ : 平成 24 年度プロコン育成塾 スタート
- ◆ 9 月 1 日 (土) ~ : 平成 24 年度診断実務事業 C コース スタート
- ◆ 9 月 8 日 (土) : 平成 24 年度理論政策更新研修

## トピックス

- ◆ 「ビジコン奈良 2013」の企画運営を奈良士会が受託しました！  
奈良士会の力を示す良い機会になりますが、責任も重大です。  
事業を意欲的に手伝って頂ける方を募集しています。  
・担当理事：森昭彦  
問合せ等はメールにて [kick.mori@nifty.com](mailto:kick.mori@nifty.com)

## 編集後記

- ▽ 今年4月より新しく「一般社団法人奈良県中小企業診断士会」としてスタート、その第1号を「診断なら 夏号」として発刊することが出来ました。会報作成にあたって、原稿をご提供いただいた方々にお礼申し上げます。
- ▽ 新しくスタートした奈良士会ですが、大きく2つの変革に挑戦していると思っています。今年2月に会員の皆様にアンケートに協力していただきましたが、この2つの変革は皆様から寄せられた多数の要望に応えてのアクションとなっています。ひとつめが「研究会活動の活発化」です。そこで今回、新しくスタートする4つの研究会活動内容等を、各発起人の方々より紹介させていただきました。ふたつめの変革が「事業部会員制度設立」です。現在会員募集中ですが、「受託事業の獲得による会員のビジネス機会の創出に注力すべき」という要望に応えるべく、組織的な受注活動を展開していくために設立されました。研究会、事業部会ともに、独立されている方々はもとより、企業内の方々も、自己研鑽及び人的ネットワーク構築のため、ご入会されることをお奨めします。
- ▽ 「診断なら」は、今後も電子メディア版として、その時期に応じた旬のコンテンツを盛り込んで定期的に発行していく予定です。今後とも、トピックス・研究会活動等についての情報提供や寄稿など、士会会員の皆さまのご協力、宜しくお願いいたします。

(松山)

### 【奈良市蛙股池よりあやめ池神社を望む】

【春】



【初夏】



一般社団法人  
奈良県中小企業診断士会  
<http://www.nara-shindanshi.jp/>

〒630-8244  
奈良市三条通 474-1 ふくもりビル 3F  
Tel : 0742-20-6688  
Fax : 0742-20-6788  
e-mail : [jsmeca27@m3.kcn.ne.jp](mailto:jsmeca27@m3.kcn.ne.jp)